積立型変額年金保険

アグレ
2019年度 特別勘定の現況

●投資環境(2019年度)

日本株式市場

当年度、国内株式市場は、前年度末対比下落しました。
期初、米中貿易協議の進展期待から、国内株式市場は上昇して始まりましたが、米国による対中追加関税の実施や円高の進行が嫌気されて2019年8月にかけて下落基調となりました。しかし、その後は米中貿易協議再開の観測やECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和の再開などを受けて国内株式市場は持ち直し、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げも追い風となり、年末にかけて堅調に推移しました。2020年に入ってからは新型肺炎の感染拡大による景気減速懸念から、国内株式市場は下落に転じ、期末にかけては、欧米諸国でも新型肺炎の感染が拡大したことや原油価格の下落などが悪材料視されて、急落しました。

外国株式市場

当年度、外国株式市場は前年度末対比大幅に下落しました。
期の前半は、2019年3月の米国ISM（供給管理協会）製造業景況感指数が事前予想を上回るなど堅調な経済指標が好感される一方で、米中貿易摩擦の激化が懸念され、外国株式市場はおおむね横ばいで推移しました。
期の後半は、FRBによる利下げや米中貿易協議進展への期待などから、外国株式市場は上昇する局面もありましたが、期末にかけて新型肺炎の感染拡大が世界経済に悪影響を及ぼすとの見方が広がり、急落しました。

日本債券市場

当年度、10年国債利回り（国内長期金利）は上昇しました。
期初、−0.08%程度の水準であった10年国債利回りは、米中貿易摩擦の激化などを背景とした欧米長期金利の低下を受けて、2019年8月下旬には一時−0.28%を下回る水準まで低下しました。しかし、その後は米中貿易問題や英国のEU（欧州連合）離脱問題に好転の兆しが見え始めるなか、日銀による追加金融緩和期待の後退などから10年国債利回りは上昇基調で推移しました。期末にかけては、新型肺炎の世界的な感染拡大に対する措置として、FRBが緊急利下げに踏み切ったことなどを背景に変動の激しい市場環境が継続し、10年国債利回りは0.03%程度の水準で期を終えました。

外国債券市場

当年度、米10年国債利回りは大幅に低下しました。
期初、米中貿易摩擦への懸念が高まるなか、FRBによる利下げなどを背景に米10年国債利回りは低下基調で推移しましたが、その後米中貿易協議が第1段階の合意に達したことなどを受けて、年末にかけて上昇基調で推移しました。しかし、2020年初以降世界的な新型肺炎感染拡大に対する措置として、各国中央銀行が緊急利下げを実施したことから、米10年国債利回りは期初の2.41%から0.67%へ大幅に低下して当年度を終えました。
当年度、ドイツ10年国債利回りは低下しました。
期初、欧州の経済指標が低迷したことや、ドラギECB総裁がさらなる金融緩和姿勢を示したことから、ドイツ10年国債利回りは低下基調で推移しました。その後、米中貿易協議の進展などからドイツ10年国債利回りは上昇しましたが、新型肺炎の感染拡大を背景に再び低下に転じ、期初の−0.07%から−0.47%へ低下して当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円相場は、期初から期の半ばにかけて米中貿易摩擦の激化などから円高米ドル安が進行する局面もありましたが、欧米諸国でも新型肺炎の感染が拡大したことや、原油相場の急落を背景に一時急激な円高米ドル安が進行しました。その後は米国の景気刺激策への期待感などから、期末にかけて円安米ドル高が進みましたが、期初からは円高米ドル安の水準で期を終えました。
ユーロ円相場は、新型肺炎の感染者が欧州で急増するなか、円高ユーロ安が進行しました。

●運用実績の推移および運用方針

①当期の運用実績の推移	各特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針	当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針	当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2019年度決算(決算日：2020年3月31日)を行いました。当資料は2019年度の運用状況をご報告するものです。
6ページ以降は特別勘定レポート(2020年3月末現在)からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定資産の内訳(2019年度末)

(単位：千円)

区分	金額								
	GW バランス1	GW バランス2	GW バランス3	GW バランス4	GW バランス5	インデックス バランスA	インデックス バランスB	インデックス バランスC	インデックス バランスD
現預金・コールローン	152	836	1,071	1,839	2,061	288	353	859	1,305
有価証券	3,543	19,327	25,635	40,422	57,128	7,350	7,898	21,967	31,795
公社債	−	−	−	−	−	−	−	−	−
株式	−	−	−	−	−	−	−	−	−
外国証券	−	−	−	−	−	−	−	−	−
公社債	−	−	−	−	−	−	−	−	−
株式等	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他の証券	3,543	19,327	25,635	40,422	57,128	7,350	7,898	21,967	31,795
貸付金	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他	−	−	−	−	−	75	−	150	150
貸倒引当金	−	−	−	−	−	−	−	−	−
合計	3,695	20,164	26,707	42,261	59,190	7,714	8,251	22,977	33,251

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額								
	GSグローバル アロケーション	日本株 インデックス	日興日本株	日本株 アクティブ	日本株 グロース	日本株 クオンツ	日本株エコ	日本株AB	BR日本株
現預金・コールローン	389	2,304	20	229	341	703	228	50	278
有価証券	12,272	80,317	592	7,000	11,823	27,028	5,453	2,492	10,317
公社債	−	−	−	−	−	−	−	−	−
株式	−	−	−	−	−	−	−	−	−
外国証券	−	−	−	−	−	−	−	−	−
公社債	−	−	−	−	−	−	−	−	−
株式等	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他の証券	12,272	80,317	592	7,000	11,823	27,028	5,453	2,492	10,317
貸付金	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他	−	225	−	−	520	2,160	−	−	−
貸倒引当金	−	−	−	−	−	−	−	−	−
合計	12,661	82,847	613	7,230	12,684	29,892	5,682	2,542	10,595

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額						
	フィデリティ 日本株	インターナショナル 株式グロース	アライアンス グローバル株式	日本債券 インデックス	インターナショナル 債券	マネー	米ドル短期
現預金・コールローン	787	662	265	57	410	15,301	526
有価証券	21,678	17,168	6,124	1,850	9,866	−	16,995
公社債	−	−	−	−	−	−	−
株式	−	−	−	−	−	−	−
外国証券	−	−	−	−	−	−	16,995
公社債	−	−	−	−	−	−	−
株式等	−	−	−	−	−	−	16,995
その他の証券	21,678	17,168	6,124	1,850	9,866	−	−
貸付金	−	−	−	−	−	−	−
その他	−	120	1,173	−	364	−	−
貸倒引当金	−	−	−	−	−	−	−
合計	22,465	17,951	7,563	1,907	10,641	15,301	17,522

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2019年度)

(単位：千円)

区分	金額								
	GW バランス1	GW バランス2	GW バランス3	GW バランス4	GW バランス5	インデックス バランスA	インデックス バランスB	インデックス バランスC	インデックス バランスD
利息配当金等収入	23	1,571	2,103	2,529	1,895	284	5	884	1,420
有価証券売却益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券償還益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券評価益	214	5,233	7,926	12,308	18,742	574	1,883	6,052	7,705
為替差益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
金融派生商品収益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他の収益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券売却損	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券償還損	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券評価損	394	7,546	11,487	17,849	26,548	921	2,110	7,789	11,321
為替差損	−	−	−	−	−	−	−	−	−
金融派生商品費用	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他の費用及び損失	−	−	−	−	−	−	−	−	−
収支差額	−156	−741	−1,457	−3,011	−5,910	−62	−221	−852	−2,195

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額								
	GSグローバル アロケーション	日本株 インデックス	日興日本株	日本株 アクティブ	日本株 グロース	日本株 クオンツ	日本株エコ	日本株AB	BR日本株
利息配当金等収入	251	6,739	4	1,547	594	762	−	−	−
有価証券売却益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券償還益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券評価益	−	12,738	−	1,057	1,246	9,657	1,540	474	−
為替差益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
金融派生商品収益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他の収益	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券売却損	−	−	−	−	21	−	−	−	−
有価証券償還損	−	−	−	−	−	−	−	−	−
有価証券評価損	819	24,267	60	2,814	1,545	12,194	1,883	530	2,038
為替差損	−	−	−	−	−	−	−	−	−
金融派生商品費用	−	−	−	−	−	−	−	−	−
その他の費用及び損失	−	−	−	−	−	−	−	−	−
収支差額	−567	−4,789	−56	−209	274	−1,775	−342	−55	−2,038

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額						
	フィデリティ 日本株	インターナショナル 株式グロース	アライアンス グローバル株式	日本債券 インデックス	インターナショナル 債券	マネー	米ドル短期
利息配当金等収入	1,219	2,428	418	1	74	−	285
有価証券売却益	−	−	−	−	−	−	221
有価証券償還益	−	−	−	−	−	−	−
有価証券評価益	1,038	5,398	1,746	22	1,647	−	669
為替差益	−	−	−	−	−	−	−
金融派生商品収益	−	−	−	−	−	−	−
その他の収益	−	−	−	−	−	−	−
有価証券売却損	−	−	−	−	−	−	−
有価証券償還損	−	−	−	−	−	−	−
有価証券評価損	2,954	8,836	2,627	33	1,425	−	1,345
為替差損	−	−	−	−	−	−	−
金融派生商品費用	−	−	−	−	−	−	−
その他の費用及び損失	−	−	−	−	−	−	−
収支差額	−696	−1,009	−462	−10	296	−	−168

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2019年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
GWバランス1	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	177	289	－	－
GWバランス2	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	171	330	2,249	2,980
GWバランス3	グローバル・ラップ・バランス 成長型	103	212	2,638	3,529
GWバランス4	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	260	620	2,318	3,496
GWバランス5	グローバル・ラップ・バランス 積極型	1,387	3,530	1,389	2,052
インデックスバランスA	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）	1,785	2,608	1,745	2,296
インデックスバランスB	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）	62	101	－	－
インデックスバランスC	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）	165	292	1,311	1,603
インデックスバランスD	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）	1,495	3,004	2,190	2,811
GSグローバルアロケーション	ダ・ヴィンチ	590	572	－	－
日本株インデックス	インデックスファンドTSP	20,530	16,253	21,561	13,446
日興日本株	日興ジャパンオープン（ジパング）	95	134	－	－
日本株アクティブ	日興アクティブ・ダイナミクス（投資力学）	157	160	5,030	3,992
日本株グロース	利益還元成長株オープン（Jグロース）	8,192	14,820	10,672	19,557
日本株クオンツ	年金積立 クオンツ・アクティブ・ジャパン	390	662	856	996
日本株エコ	日興エコファンド	196	210	－	－
日本株AB	アバディーン・スタンダード・ジャパン・オープン（メガトレンド）	33	30	－	－
BR日本株	ブラックロック日本株式オープン	9,358	10,876	－	－
フィデリティ日本株	フィデリティ・日本成長株・ファンド	87	180	4,369	8,497
インターナショナル株式グロース	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	747	1,867	2,186	3,091
アライアンスグローバル株式	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)	515	897	542	552
日本債券インデックス	インデックスファンド日本債券（1年決算型）	115	143	－	－
インターナショナル債券	年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンド	210	382	244	372
マネー	―	－	－	－	－
米ドル短期	ニッコウ・マネー・マーケット・ファンド（米ドルMMF）	3,870	4,182	6,664	6,945

※単位未満切捨て

●保有契約高(2019年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
積立型変額年金保険　アグレ	120	615

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	銘柄	運用会社	資産運用関係費用(年率)*1
GWバランス1	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	日興アセットマネジメント 【投資助言】日興グローバルラップ	1.122%（税込）程度
GWバランス2	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型		1.232%（税込）程度
GWバランス3	グローバル・ラップ・バランス 成長型		1.364%（税込）程度
GWバランス4	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型		1.518%（税込）程度
GWバランス5	グローバル・ラップ・バランス 積極型		1.694%（税込）程度
インデックスバランスA	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)(DC Aナビ20)	日興アセットマネジメント	0.5885%（税込）程度
インデックスバランスB	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)(DC Aナビ40)		0.671%（税込）程度
インデックスバランスC	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)(DC Aナビ60)		0.7535%（税込）程度
インデックスバランスD	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)(DC Aナビ80)		0.836%（税込）程度
GSグローバルアロケーション	ダ・ヴィンチ	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	2.2%（税込）程度
日本株インデックス	インデックスファンドTSP	日興アセットマネジメント	0.572%（税込）程度
日興日本株	日興ジャパンオープン（ジパング）		1.672%（税込）程度*2
日本株アクティブ	日興アクティブ・ダイナミクス（投資力学）	日興アセットマネジメント	2.09%（税込）程度*3
日本株グロース	利益還元成長株オープン（Jグロース）	日興アセットマネジメント	0.902%（税込）程度*4
日本株クオンツ	年金積立 クオンツ・アクティブ・ジャパン	日興アセットマネジメント	1.32%（税込）程度
日本株エコ	日興エコファンド	日興アセットマネジメント 【投資助言】グッドバンカー	1.65%（税込）程度
日本株AB	アバディーン・スタンダード・ジャパン・オープン（メガトレンド）	アバディーン・スタンダード・インベストメンツ	1.65%（税込）程度
BR日本株	ブラックロック日本株式オープン	ブラックロック・ジャパン	1.683%（税込）程度
フィデリティ日本株	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	1.683%（税込）程度
インターナショナル株式グロース	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	日興アセットマネジメント 【投資一任】ウエリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー	1.98%（税込）程度
アライアンスグローバル株式	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)	アライアンス・バーンスタイン	1.848%（税込）程度
日本債券インデックス	インデックスファンド日本債券（1年決算型）	日興アセットマネジメント	0.495%（税込）程度
インターナショナル債券	年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンド	日興アセットマネジメント 【投資一任】日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド	1.32%（税込）程度
マネー	特に定めません	特に定めません	＊5
米ドル短期	ニッコウ・マネー・マーケット・ファンド(米ドルMMF)	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド	0.8%程度

＊1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

＊2 ジパングについては、前営業日の属する月の前月の最終営業日の基準価額と比較して、①前営業日の基準価額が上回っている場合1.892%（税込）、②前営業日の基準価額が下回っている場合1.452%（税込）、③前営業日の基準価額と同じ場合1.672%（税込）の信託報酬が適用されます。

＊3 投資力学については、直前20営業日間における基準価額の騰落率（分配金がある場合はそれを含む）と、東証株価指数の騰落率を比較して、①基準価額の騰落率が東証株価指数の騰落率を上回る場合は信託報酬を2.2%（税込）とし、②基準価額の騰落率が東証株価指数の騰落率を下回る場合は、信託報酬を1.98%（税込）、③基準価額の騰落率が東証株価指数の騰落率と同じ場合は信託報酬を2.09%（税込）とします。

＊4 Jグロースについては、日々の基準価額の前期末基準価額に対する割合（基準価額倍率）によって以下のとおり信託報酬が変動します。①基準価額倍率が120%以上の場合0.957%（税込）、②基準価額倍率が110%以上～120%未満の場合0.935%（税込）、③基準価額倍率が90%以上～110%未満の場合0.902%（税込）、④基準価額倍率が80%以上～90%未満の場合0.869%（税込）、⑤基準価額倍率が80%未満の場合0.847%（税込）

＊5 金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。

GWバランス1 （2020年3月末現在）

● 特別勘定について

基本情報

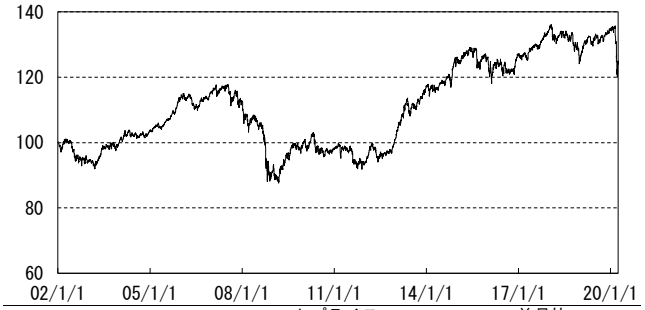
【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、債券の比率を高めにすることで利息収入を重視した運用を行います。株式にもある程度投資し、元本の長期的な成長も考慮した運用を行います。
【対象投資信託】年金積立グローバル・ラップ・バランス（安定型）

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	152	4.1%
有価証券等		
年金積立グローバル・ラップ・バランス（安定型）	3,543	95.9%
その他	－	－
資産合計	3,695	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	3,695	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	126.67	－
2019年 3月31日	130.87	0.07%
4月30日	132.39	1.16%
5月31日	130.31	−1.57%
6月30日	131.49	0.91%
7月31日	132.88	1.06%
8月31日	131.11	−1.33%
9月30日	132.45	1.02%
10月31日	133.06	0.47%
11月30日	134.18	0.84%
12月31日	134.88	0.52%
2020年 1月31日	134.44	−0.32%
2月29日	132.34	−1.56%
3月31日	124.09	−6.23%
3ヶ月変化率		−8.00%
6ヶ月変化率		−6.31%
1年変化率		−5.18%
3年変化率		−2.04%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

年金積立グローバル・ラップ・バランス（安定型）の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 （2020.3末現在）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	8.00%	8.61%
日本小型株式	6.00%	5.58%
日本債券	60.00%	59.54%
北米株式	10.00%	8.82%
欧州先進国株式	6.00%	6.48%
アジア太平洋株式	2.00%	2.08%
海外債券	8.00%	7.72%
短期資産その他	0.00%	1.15%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

GWバランス2 （2020年3月末現在）

● 特別勘定について

基本情報

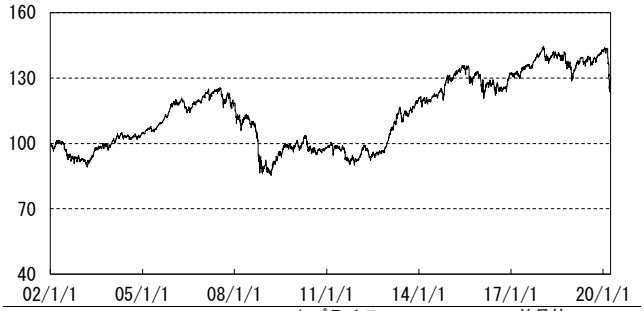
【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、債券の比率をやや高めにすることで基本的に安定した利息収入を確保しながら、株式による元本の成長もはかります。
【対象投資信託】グローバル・ラップ・バランス安定成長型

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	836	4.2%
有価証券等		
グローバル・ラップ・バランス安定成長型	19,327	95.8%
その他	－	－
資産合計	20,164	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	20,164	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	131.93	－
2019年 3月31日	137.17	−0.10%
4月30日	139.40	1.62%
5月31日	136.44	−2.12%
6月30日	137.81	1.00%
7月31日	139.57	1.28%
8月31日	136.71	−2.05%
9月30日	139.09	1.74%
10月31日	140.28	0.85%
11月30日	141.82	1.10%
12月31日	142.93	0.79%
2020年 1月31日	142.13	−0.56%
2月29日	139.24	−2.03%
3月31日	129.05	−7.32%
3ヶ月変化率		−9.71%
6ヶ月変化率		−7.22%
1年変化率		−5.92%
3年変化率		−2.19%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

グローバル・ラップ・バランス安定成長型の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 （2020.3末現在）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	12.00%	13.12%
日本小型株式	7.00%	6.38%
日本債券	51.00%	50.30%
北米株式	12.00%	10.63%
欧州先進国株式	7.00%	8.03%
アジア太平洋株式	2.00%	2.23%
海外債券	9.00%	8.35%
短期資産その他	0.00%	0.96%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

GWバランス3 (2020年3月末現在)

● 特別勘定について

基本情報

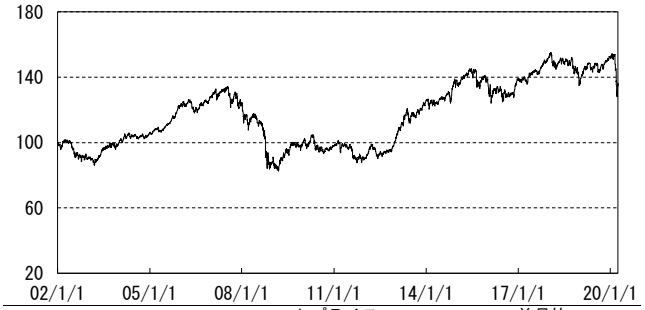
【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、株式・債券の比率をほぼ均等にすることで、利息収入の確保と元本部分の成長のバランスをとった運用を行います。
【対象投資信託】グローバル・ラップ・バランス成長型

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	1,071	4.0%
有価証券等 グローバル・ラップ・バランス成長型	25,635	96.0%
その他	－	－
資産合計	26,707	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	26,707	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	138.65	－
2019年 3月31日	145.37	−0.21%
4月30日	148.56	2.19%
5月31日	144.51	−2.73%
6月30日	146.18	1.15%
7月31日	148.38	1.51%
8月31日	143.87	−3.04%
9月30日	147.30	2.39%
10月31日	149.15	1.26%
11月30日	151.25	1.41%
12月31日	152.88	1.08%
2020年 1月31日	151.75	−0.74%
2月29日	148.01	−2.47%
3月31日	134.79	−8.93%

3ヶ月変化率	−11.84%
6ヶ月変化率	−8.50%
1年変化率	−7.28%
3年変化率	−2.79%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

グローバル・ラップ・バランス成長型の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 (2020.3末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	15.00%	16.51%
日本小型株式	7.00%	6.30%
日本債券	40.00%	39.96%
北米株式	15.00%	12.69%
欧州先進国株式	10.00%	11.09%
アジア太平洋株式	3.00%	3.14%
海外債券	10.00%	9.46%
短期資産その他	0.00%	0.85%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

GWバランス4 (2020年3月末現在)

● 特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、株式比率を高めにすることで元本の成長を重視した運用を行う一方、債券からの安定的な利息収入の確保も目指します。
【対象投資信託】グローバル・ラップ・バランス積極成長型

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	1,839	4.4%
有価証券等 グローバル・ラップ・バランス積極成長型	40,422	95.6%
その他	－	－
資産合計	42,261	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	42,261	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	150.01	－
2019年 3月31日	159.76	−0.56%
4月30日	164.90	3.22%
5月31日	158.54	−3.86%
6月30日	160.76	1.40%
7月31日	163.91	1.96%
8月31日	156.81	−4.33%
9月30日	162.70	3.76%
10月31日	166.02	2.04%
11月30日	169.32	1.99%
12月31日	172.12	1.65%
2020年 1月31日	170.20	−1.12%
2月29日	164.54	−3.32%
3月31日	145.45	−11.60%

3ヶ月変化率	−15.49%
6ヶ月変化率	−10.60%
1年変化率	−8.95%
3年変化率	−3.04%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

グローバル・ラップ・バランス積極成長型の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 (2020.3末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	21.00%	23.70%
日本小型株式	8.00%	7.27%
日本債券	21.00%	19.47%
北米株式	20.00%	17.34%
欧州先進国株式	14.00%	15.91%
アジア太平洋株式	4.00%	4.29%
海外債券	12.00%	11.30%
短期資産その他	0.00%	0.72%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

GWバランス5 (2020年3月末現在)

● 特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、株式投資比率、海外投資比率を高めにし長期的な元本の成長を積極的に目指します。
【対象投資信託】グローバル・ラップ・バランス積極型

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	2,061	3.5%
有価証券等 グローバル・ラップ・バランス積極型	57,128	96.5%
その他	－	－
資産合計	59,190	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	59,190	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	150.24	－
2019年 3月31日	161.37	－0.82%
4月30日	167.88	4.03%
5月31日	159.93	－4.74%
6月30日	162.50	1.61%
7月31日	166.21	2.28%
8月31日	156.97	－5.56%
9月30日	164.59	4.85%
10月31日	169.03	2.70%
11月30日	173.11	2.41%
12月31日	176.71	2.08%
2020年 1月31日	174.15	－1.45%
2月29日	167.14	－4.02%
3月31日	143.96	－13.87%
3ヶ月変化率		－18.53%
6ヶ月変化率		－12.53%
1年変化率		－10.79%
3年変化率		－4.18%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

グローバル・ラップ・バランス積極型の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 (2020.3末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	26.00%	29.66%
日本小型株式	9.00%	8.19%
日本債券	5.00%	1.72%
北米株式	23.00%	20.40%
欧州先進国株式	17.00%	20.08%
アジア太平洋株式	6.00%	6.43%
海外債券	14.00%	12.55%
短期資産その他	0.00%	0.98%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

インデックスバランスA (2020年3月末現在)

● 特別勘定について

基本情報

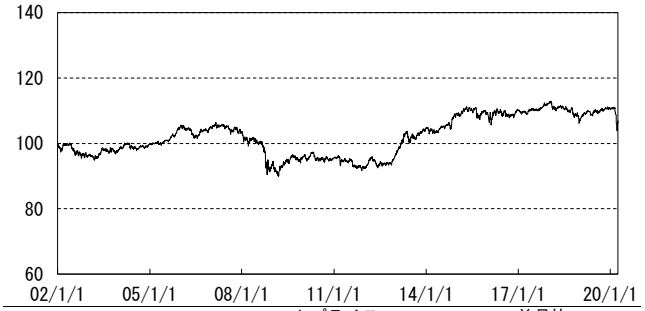
【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は20%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。
【対象投資信託】
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)(DC Aナビ20)

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	288	3.8%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20)(DC　Aナビ20)	7,350	96.2%
その他	－	－
資産合計	7,639	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	7,639	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	109.51	－
2019年 3月31日	109.59	0.26%
4月30日	109.72	0.12%
5月31日	108.73	−0.90%
6月30日	109.52	0.73%
7月31日	110.01	0.44%
8月31日	109.86	−0.13%
9月30日	110.58	0.66%
10月31日	110.55	−0.03%
11月30日	110.93	0.34%
12月31日	110.79	−0.12%
2020年 1月31日	110.58	−0.19%
2月29日	109.56	−0.92%
3月31日	106.72	−2.60%
3ヶ月変化率		−3.68%
6ヶ月変化率		−3.50%
1年変化率		−2.62%
3年変化率		−2.55%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）(DC Aナビ20) の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 (2020.3末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	15.00%	15.00%
国内債券	65.00%	64.61%
外国株式	5.00%	5.27%
外国債券	10.00%	9.77%
短期資産	5.00%	5.34%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

インデックスバランスB (2020年3月末現在)

● 特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は40%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。
【対象投資信託】
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)(DC Aナビ40)

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	353	4.3%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40)(DC　Aナビ40)	7,898	95.7%
その他	－	－
資産合計	8,251	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	8,251	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	122.39	－
2019年 3月31日	124.42	−0.07%
4月30日	125.44	0.82%
5月31日	122.79	−2.11%
6月30日	124.03	1.01%
7月31日	124.99	0.77%
8月31日	123.11	−1.51%
9月30日	125.96	2.31%
10月31日	126.98	0.81%
11月30日	128.15	0.92%
12月31日	128.58	0.34%
2020年 1月31日	127.62	−0.75%
2月29日	124.97	−2.08%
3月31日	119.43	−4.44%
3ヶ月変化率		−7.12%
6ヶ月変化率		−5.19%
1年変化率		−4.01%
3年変化率		−2.42%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式40）(DC Aナビ40) の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 (2020.3末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	30.00%	29.80%
国内債券	45.00%	44.65%
外国株式	10.00%	10.54%
外国債券	10.00%	9.75%
短期資産	5.00%	5.27%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

インデックスバランスC (2020年3月末現在)

● 特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は60%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。
【対象投資信託】
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)(DC Aナビ60)

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	859	3.8%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60)(DC　Aナビ60)	21,967	96.2%
その他	－	－
資産合計	22,827	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	22,827	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	127.43	－
2019年 3月31日	130.73	−0.40%
4月30日	132.70	1.51%
5月31日	128.32	−3.30%
6月30日	129.97	1.28%
7月31日	131.40	1.10%
8月31日	127.62	−2.88%
9月30日	132.68	3.97%
10月31日	134.89	1.66%
11月30日	136.91	1.50%
12月31日	137.96	0.77%
2020年 1月31日	136.13	−1.33%
2月29日	131.70	−3.25%
3月31日	123.33	−6.35%

3ヶ月変化率	−10.60%
6ヶ月変化率	−7.05%
1年変化率	−5.66%
3年変化率	−3.22%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）(DC Aナビ60) の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 (2020.3末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	45.00%	44.43%
国内債券	25.00%	24.87%
外国株式	15.00%	15.69%
外国債券	10.00%	9.77%
短期資産	5.00%	5.23%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

インデックスバランスD (2020年3月末現在)

● 特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は80%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。
【対象投資信託】
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)(DC Aナビ80)

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	1,305	3.9%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80)(DC　Aナビ80)	31,795	96.1%
その他	－	－
資産合計	33,100	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	33,100	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	133.39	－
2019年 3月31日	138.34	−0.72%
4月30日	141.37	2.19%
5月31日	135.06	−4.46%
6月30日	137.18	1.57%
7月31日	139.12	1.41%
8月31日	133.29	−4.19%
9月30日	140.63	5.50%
10月31日	144.13	2.49%
11月30日	147.08	2.04%
12月31日	148.87	1.22%
2020年 1月31日	146.04	−1.90%
2月29日	139.59	−4.42%
3月31日	128.16	−8.19%

3ヶ月変化率	−13.92%
6ヶ月変化率	−8.87%
1年変化率	−7.36%
3年変化率	−3.93%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド（株式80）(DC Aナビ80) の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

■資産構成 (2020.3末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	60.00%	59.72%
国内債券	5.00%	4.71%
外国株式	20.00%	21.44%
外国債券	10.00%	9.25%
短期資産	5.00%	4.88%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

GSグローバルアロケーション（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。為替はフルヘッジいたします。
【対象投資信託】
ダ・ヴィンチ

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	389	3.1%
有価証券等 ダ・ヴィンチ	12,272	96.9%
その他	－	－
資産合計	12,661	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	12,661	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	93.73	－
2019年 3月31日	91.16	0.40%
4月30日	92.70	1.70%
5月31日	90.76	−2.09%
6月30日	92.91	2.36%
7月31日	94.40	1.61%
8月31日	92.98	−1.50%
9月30日	93.92	1.01%
10月31日	93.49	−0.46%
11月30日	94.36	0.93%
12月31日	94.57	0.23%
2020年 1月31日	94.61	0.04%
2月29日	93.27	−1.42%
3月31日	86.04	−7.75%
3ヶ月変化率		−9.02%
6ヶ月変化率		−8.39%
1年変化率		−5.61%
3年変化率		−8.20%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

ダ・ヴィンチの基本情報

【運用会社】ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
【運用対象】日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。（株式先物・債券先物取引等を含みます。）
【ベンチマーク】MSCIワールド・インデックス40%＋JPモルガン・ガバメントボンド・インデックス（グローバル）40%（ともに100%為替円ヘッジ、円ベース）＋1カ月円LIBOR20%

運用状況

■資産構成（2020.3末現在）

	構成比
世界株式	39.8%
世界債券	42.6%
円短期金融商品	17.6%
合計	100.0%

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

＜資産クラス間配分＞
資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対してやや弱気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。大型株／小型株の配分に関しては、小型株に対してやや強気の見通しとしている。小型株はモメンタムの観点で評価が高いことからやや強気の見通しとしている。一般優良株／テクノロジー株間の配分に関しては、中立の見通しとしている。
＜株式国別配分＞
株式国別配分においては、オランダやスイスに対して強気の見通しとする一方で、日本やカナダに対して弱気の見通しとしている。オランダに対しては、モメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。スイスに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、日本やカナダに対しては、リスクの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。
＜債券国別配分＞
債券国別配分においては、フランスやオーストラリアに対して強気の見通しとする一方で、日本やアメリカに対して弱気の見通しとしている。フランスやオーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、日本に対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。アメリカに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。
＜通貨配分＞
通貨配分においては、アメリカやニュージーランドに対して強気の見通しとする一方で、カナダやイギリスに対して弱気の見通しとしている。アメリカに対してはモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ニュージーランドに対しては、資金フローの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、カナダやイギリスに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株インデックス（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
TOPIX（東証株価指数）採用銘柄を中心に分散投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。
【対象投資信託】
インデックスファンドTSP

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	2,304	2.8%
有価証券等		
インデックスファンドTSP	80,317	97.2%
その他	－	－
資産合計	82,621	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	82,621	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	134.79	－
2019年 3月31日	139.51	−1.42%
4月30日	142.54	2.18%
5月31日	134.66	−5.53%
6月30日	136.46	1.33%
7月31日	138.16	1.25%
8月31日	130.71	−5.39%
9月30日	141.42	8.20%
10月31日	146.48	3.58%
11月30日	149.86	2.30%
12月31日	151.94	1.39%
2020年 1月31日	146.73	−3.43%
2月29日	137.48	−6.30%
3月31日	127.54	−7.23%
3ヶ月変化率		−16.06%
6ヶ月変化率		−9.82%
1年変化率		−8.58%
3年変化率		−5.38%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

インデックスファンドTSPの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

運用状況

■資産構成比（2020.3末現在）

	構成比
株式	100.2%
（うち先物）	5.3%
ＣＢ	0.0%
公社債	0.0%
現金その他	5.1%
外貨建資産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■株式組入上位5業種（2020.3末現在）

	業種	構成比
1	電気機器	14.2%
2	情報・通信業	9.7%
3	化学	7.6%
4	輸送用機器	7.3%
5	医薬品	6.6%

※構成比はマザーファンド組入株式時価総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	業種	構成比
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.61%
2	ソニー	電気機器	2.02%
3	日本電信電話	情報・通信業	1.68%
4	キーエンス	電気機器	1.58%
5	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.47%
6	武田薬品工業	医薬品	1.37%
7	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	1.35%
8	任天堂	その他製品	1.28%
9	ＮＴＴドコモ	情報・通信業	1.22%
10	ＫＤＤＩ	情報・通信業	1.16%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合
（銘柄数　2,122）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

〈市場環境〉
3月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比マイナス7.14%、日経平均株価が同マイナス10.53%と下落しました。上旬から中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が警戒されたこと、世界保健機関（WHO）による「新型コロナウイルスはパンデミック（世界的な大流行）」との表明や、各国の渡航制限を受けて世界の経済活動の鈍化が一段と強まったことなどから、国内株式市場は下落しました。下旬は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた各国の経済対策が期待されたことなどから、国内株式市場は上昇しました。
東証33業種分類では、電気・ガス業、パルプ・紙、その他製品など6業種が上昇する一方で、鉱業、鉄鋼、海運業などの27業種が下落しました。

〈運用概況〉
当ファンドはTOPIX（東証株価指数）に連動した投資成果をめざすファンドです。実際の運用は、「インデックス マザーファンド TOPIX」受益証券を高位に組入れ、株式先物を利用して実質株式組入比率を100%程度で推移させています。「インデックス マザーファンド TOPIX」では、「バーラ 日本株式モデル」を使用して2,100銘柄程度に投資し、TOPIXへの連動性の高いポートフォリオを構築するとともに、株式先物を利用して実質の株式組入比率を100%程度で推移させています。
3月における当ファンドの基準価額は、TOPIXの7.14%の下落に対し、6.03%の下落となりました。乖離の主な原因は、株式配当金を取得したことによります。
今後もこれまでの運用方針を継続し、TOPIXに連動した投資成果を目指します。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日興日本株（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の上場および店頭公開企業に投資し、中長期的な観点から、ベンチマークの動きを上回る投資成果を目指します。チームによる個別企業調査をベースに、幅広く収益を追求します。
【対象投資信託】
日興ジャパンオープン（ジパング）

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	20	3.3%
有価証券等		
日興ジャパンオープン（ジパング）	592	96.7%
その他	－	－
資産合計	613	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	613	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	140.02	－
2019年 3月31日	152.89	−1.24%
4月30日	158.43	3.62%
5月31日	149.12	−5.87%
6月30日	151.18	1.38%
7月31日	154.63	2.28%
8月31日	145.98	−5.59%
9月30日	157.27	7.73%
10月31日	163.13	3.73%
11月30日	167.78	2.85%
12月31日	170.34	1.53%
2020年 1月31日	164.25	−3.57%
2月29日	154.17	−6.13%
3月31日	141.02	−8.53%
3ヶ月変化率		−17.21%
6ヶ月変化率		−10.33%
1年変化率		−7.77%
3年変化率		0.72%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

日興ジャパンオープン（ジパング）の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

運用状況

■株式組入上位10業種（2020.3末現在）

	業種	構成比
1	電気機器	18.98%
2	情報・通信業	12.32%
3	精密機器	7.82%
4	サービス業	7.50%
5	化学	7.30%
6	輸送用機器	5.89%
7	建設業	5.77%
8	小売業	5.20%
9	卸売業	3.70%
10	陸運業	2.95%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	業種	構成比
1	ソニー	電気機器	2.93%
2	キーエンス	電気機器	2.57%
3	ＨＯＹＡ	精密機器	2.54%
4	日立製作所	電気機器	2.51%
5	日本電信電話	情報・通信業	2.12%
6	ＴＤＫ	電気機器	2.11%
7	ダイキン工業	機械	2.05%
8	テルモ	精密機器	2.04%
9	大塚商会	情報・通信業	2.00%
10	ミスミグループ本社	卸売業	1.99%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　72）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

〈市場環境〉
3月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比マイナス7.14%、日経平均株価が同マイナス10.53%と下落しました。上旬から中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が警戒されたこと、世界保健機関（WHO）による「新型コロナウイルスはパンデミック（世界的な大流行）」との表明や、各国の渡航制限を受けて世界の経済活動の鈍化が一段と強まったことなどから、国内株式市場は下落しました。下旬は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた各国の経済対策が期待されたことなどから、国内株式市場は上昇しました。
東証33業種分類では、電気・ガス業、パルプ・紙、その他製品など6業種が上昇する一方で、鉱業、鉄鋼、海運業などの27業種が下落しました。

〈運用概況〉
当ファンドでは、成長分野での高い競争力や事業再編効果などによって、今後の業績拡大が期待できる企業の選別を進め、株価の割安性も重視した運用を行ないました。中期的な観点から、世界で高いシェアを持つ企業や、事業構造改革による業績拡大が見込まれる企業、産業構造の変化を捉えて成長することが期待できる企業などに重点を置いた運用を行なっています。今月の主な投資行動としては、株価の下落で割安感が強まった小売専門店や、安定的な業績が期待される医療機器関連企業などを買い付ける一方で、株価上昇で割安感が薄れた医薬品や、新型肺炎の影響が懸念される自動車関連企業を一部売却しました。このような運用の結果、当月末における当ファンドのリターンは、前月末比でマイナスとなり、TOPIXを上回りました。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株アクティブ（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
主として日本の上場および店頭公開企業の株式に投資を行います。投資機会を柔軟に捉え、あらゆる市場局面においてベンチマークを上回る投資成果を目指します。
【対象投資信託】
日興アクティブ・ダイナミクス（投資力学）

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	229	3.2%
有価証券等 日興アクティブ・ダイナミクス（投資力学）	7,000	96.8%
その他	－	－
資産合計	7,230	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	7,230	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	93.34	－
2019年 3月31日	96.39	－1.87%
4月30日	100.16	3.91%
5月31日	92.35	－7.80%
6月30日	94.10	1.90%
7月31日	95.82	1.83%
8月31日	91.10	－4.93%
9月30日	100.22	10.01%
10月31日	106.55	6.32%
11月30日	106.94	0.37%
12月31日	107.88	0.88%
2020年 1月31日	101.76	－5.67%
2月29日	95.20	－6.45%
3月31日	87.39	－8.21%
3ヶ月変化率		－19.00%
6ヶ月変化率		－12.80%
1年変化率		－9.34%
3年変化率		－6.38%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

日興アクティブ・ダイナミクス（投資力学）の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

運用状況

■資産構成比（2020.3末現在）

	構成比
株式	97.4%
（うち先物）	0.0%
現金その他	2.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■株式組入上位5業種（2020.3末現在）

業種	構成比
1 電気機器	17.9%
2 情報・通信業	9.7%
3 輸送用機器	6.3%
4 医薬品	5.6%
5 機械	5.5%

※構成比はマザーファンドの組入株式時価総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

銘柄	業種	構成比
1 イビデン	電気機器	4.07%
2 コスモエネルギーホールディングス	石油・石炭製品	3.99%
3 ＳＭＣ	機械	3.96%
4 任天堂	その他製品	3.70%
5 三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	3.56%
6 第一生命ホールディングス	保険業	3.44%
7 ミスミグループ本社	卸売業	3.27%
8 ＴＤＫ	電気機器	2.98%
9 シスメックス	電気機器	2.92%
10 ＴＯＹＯ　ＴＩＲＥ	ゴム製品	2.91%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数　187）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

〈市場環境〉
3月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比マイナス7.14%、日経平均株価が同マイナス10.53%と下落しました。上旬から中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が警戒されたこと、世界保健機関（WHO）による「新型コロナウイルスはパンデミック（世界的な大流行）」との表明や、各国の渡航制限を受けて世界の経済活動の鈍化が一段と強まったことなどから、国内株式市場は下落しました。下旬は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた各国の経済対策が期待されたことなどから、国内株式市場は上昇しました。
東証33業種分類では、電気・ガス業、パルプ・紙、その他製品など6業種が上昇する一方で、鉱業、鉄鋼、海運業などの27業種が下落しました。
〈運用概況〉
今月の主な投資行動につきましては、相対比較でより割安感の強い業績改善傾向が見られる銘柄などの新規購入、業績モメンタムが鈍化する懸念のある銘柄のウェイトダウンを行いました。その他金融株、小売株のオーバーウェイトなどがマイナスに寄与したものの、陸運株のオーバーウェイト、銀行株のアンダーウェイトなどがプラスに寄与したことから、0.56%のアウトパフォーマンスとなりました。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株グロース（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
成長性が高く、株主への利益還元が期待できる株式を中心に投資を行い、信託財産の成長をはかることを目標にアクティブ運用を行います。
【対象投資信託】
利益還元成長株オープン（Ｊグロース）

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	341	2.8%
有価証券等 利益還元成長株オープン （Jグロース）	11,823	97.2%
その他	－	－
資産合計	12,164	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	12,164	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	162.68	－
2019年 3月31日	179.94	−1.38%
4月30日	187.36	4.12%
5月31日	179.03	−4.45%
6月30日	181.62	1.45%
7月31日	185.80	2.30%
8月31日	174.61	−6.02%
9月30日	188.73	8.09%
10月31日	194.87	3.25%
11月30日	202.29	3.81%
12月31日	207.18	2.42%
2020年 1月31日	199.15	−3.88%
2月29日	186.48	−6.36%
3月31日	167.33	−10.27%
3ヶ月変化率		−19.23%
6ヶ月変化率		−11.34%
1年変化率		−7.01%
3年変化率		2.86%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

利益還元成長株オープン（Ｊグロース）の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

運用状況

■株式組入上位10業種（2020.3末現在）

	業種	構成比
1	電気機器	18.39%
2	情報・通信業	11.26%
3	サービス業	9.53%
4	精密機器	8.78%
5	化学	5.94%
6	機械	5.53%
7	輸送用機器	4.55%
8	卸売業	4.42%
9	小売業	4.35%
10	医薬品	4.17%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	業種	構成比
1	ソニー	電気機器	3.90%
2	村田製作所	電気機器	3.55%
3	朝日インテック	精密機器	3.17%
4	キーエンス	電気機器	3.02%
5	伊藤忠商事	卸売業	2.86%
6	ＨＯＹＡ	精密機器	2.47%
7	中外製薬	医薬品	2.40%
8	ソフトバンク	情報・通信業	2.03%
9	ダイキン工業	機械	1.80%
10	ニトリホールディングス	小売業	1.76%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　120）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

〈市場環境〉3月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比マイナス7.14%、日経平均株価が同マイナス10.53%と下落しました。上旬から中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が警戒されたこと、世界保健機関（WHO）による「新型コロナウイルスはパンデミック（世界的な大流行）」との表明や、各国の渡航制限を受けて世界の経済活動の鈍化が一段と強まったことなどから、国内株式市場は下落しました。下旬は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた各国の経済対策が期待されたことなどから、国内株式市場は上昇しました。
東証33業種分類では、電気・ガス業、パルプ・紙、その他製品など6業種が上昇する一方で、鉱業、鉄鋼、海運業などの27業種が下落しました。
〈運用概況〉当ファンドでは、独自の製品やビジネスノウハウによって持続的な成長を遂げることができる企業に注目するとともに、新型コロナウイルスの感染が急拡大し、世界的に景気後退への懸念が高まったことや、株価や原油価格の下落によって投資家のリスク回避姿勢が強まったことに配慮して運用を行いました。今月は、新型肺炎の混乱長期化により衛生用品が好調な化学や、有望な新薬を持ちながら株価が急落した医薬品、保有する資源の価値に比べて割安になった非鉄金属などの株式に新規投資をしたほか、電子部品や半導体関連、医療機器、不動産など株価が下落した銘柄に追加投資を行いました。一方、小売業やガラス・土石製品の株式などを売却したほか、株価が堅調に推移した医薬品やサービス業、情報サービスなどの一部を売却しました。当ファンドの基準価額は、サービス業や精密機器、不動産業などオーバーウェイトにしている業種が不振だったことや、保有する自動車株や証券株などが大幅に下落したことが災いして、TOPIXを下回りました。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株クオンツ（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の上場株式を中心に投資し、クオンツ（計量）運用で、幅広い個別銘柄からの超過リターンを積み上げることにより、中長期的にベンチマークを上回る元本の成長を目指します。
【対象投資信託】
年金積立 クオンツ・アクティブ・ジャパン

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	703	2.5%
有価証券等		
年金積立　クオンツ・アクティブ・ジャパン	27,028	97.5%
その他	－	－
資産合計	27,732	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	27,732	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	160.55	－
2019年 3月31日	160.25	−1.57%
4月30日	162.27	1.26%
5月31日	153.82	−5.21%
6月30日	156.12	1.50%
7月31日	157.68	1.00%
8月31日	148.50	−5.82%
9月30日	160.38	8.00%
10月31日	165.82	3.39%
11月30日	170.41	2.77%
12月31日	174.81	2.58%
2020年 1月31日	168.53	−3.59%
2月29日	157.75	−6.40%
3月31日	148.18	−6.07%
3ヶ月変化率		−15.23%
6ヶ月変化率		−7.61%
1年変化率		−7.53%
3年変化率		−7.70%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

年金積立 クオンツ・アクティブ・ジャパンの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

運用状況

■株式組入上位5業種（2020.3末現在）

	業種	構成比
1	電気機器	15.58%
2	医薬品	15.33%
3	情報・通信業	11.79%
4	輸送用機器	8.88%
5	小売業	6.83%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	業種	構成比
1	中外製薬	医薬品	5.26%
2	日本電信電話	情報・通信業	4.71%
3	本田技研工業	輸送用機器	3.87%
4	大塚ホールディングス	医薬品	3.41%
5	村田製作所	電気機器	2.91%
6	小野薬品工業	医薬品	2.86%
7	第一生命ホールディングス	保険業	2.77%
8	丸紅	卸売業	2.71%
9	ユニ・チャーム	化学	2.59%
10	トヨタ自動車	輸送用機器	2.50%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　165）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

〈市場環境〉
3月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比マイナス7.14%、日経平均株価が同マイナス10.53%と下落しました。上旬から中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が警戒されたこと、世界保健機関（WHO）による「新型コロナウイルスはパンデミック（世界的な大流行）」との表明や、各国の渡航制限を受けて世界の経済活動の鈍化が一段と強まったことなどから、国内株式市場は下落しました。下旬は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた各国の経済対策が期待されたことなどから、国内株式市場は上昇しました。
東証33業種分類では、電気・ガス業、パルプ・紙、その他製品など6業種が上昇する一方で、鉱業、鉄鋼、海運業などの27業種が下落しました。

〈運用概況〉
3月の当ファンドはベンチマークに対して堅調なパフォーマンスとなりました。リスクインデックスのうち、プラスのエクスポージャーをとっていた益回りはマイナスに影響しましたが、個別銘柄選択効果がプラスに寄与しました。3月末時点では、株式の組入比率はほぼフルインベストの状態となっています。また、益回り、センチメントのエクスポージャーがプラスに大きくなっています。

〈今後の見通し〉
運用にあたっては、引き続き定量モデルを用いて個別銘柄の魅力度を測定し、最適化モデルによりリスクコントロールを行ないながらポートフォリオを構築することで超過収益の獲得をめざします。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株エコ（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式のなかから、環境問題への対応が優れている企業および環境に関連する事業を行っており、且つ成長性のある企業の株式を中心に投資し、中長期的な投資収益を目指します。
【対象投資信託】
日興エコファンド

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	228	4.0%
有価証券等		
日興エコファンド	5,453	96.0%
その他	－	－
資産合計	5,682	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	5,682	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	114.94	－
2019年 3月31日	113.90	−0.98%
4月30日	116.33	2.13%
5月31日	111.70	−3.97%
6月30日	113.09	1.24%
7月31日	113.38	0.26%
8月31日	108.23	−4.54%
9月30日	118.09	9.11%
10月31日	121.73	3.08%
11月30日	123.89	1.77%
12月31日	125.90	1.62%
2020年 1月31日	122.93	−2.36%
2月29日	115.59	−5.96%
3月31日	106.15	−8.17%
3ヶ月変化率		−15.68%
6ヶ月変化率		−10.11%
1年変化率		−6.80%
3年変化率		−7.65%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

日興エコファンドの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
（投資助言）グッドバンカー
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

運用状況

■株式組入上位10業種（2020.3末現在）

	業種	構成比
1	電気機器	15.14%
2	情報・通信業	10.12%
3	輸送用機器	9.82%
4	機械	7.46%
5	医薬品	6.30%
6	建設業	6.02%
7	銀行業	4.93%
8	食料品	3.78%
9	その他製品	3.51%
10	保険業	3.21%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	業種	構成比
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.55%
2	日本電信電話	情報・通信業	3.70%
3	東京海上ホールディングス	保険業	2.79%
4	ダイキン工業	機械	2.74%
5	東日本旅客鉄道	陸運業	2.69%
6	ソニー	電気機器	2.63%
7	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.60%
8	ＮＴＴドコモ	情報・通信業	2.53%
9	大和ハウス工業	建設業	2.33%
10	三菱電機	電気機器	2.28%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　86）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）
〈運用概況〉3月の国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が警戒されたこと、世界保健機関（WHO）による「新型コロナウイルスはパンデミック（世界的な大流行）」との表明や、各国の渡航制限を受けて世界の経済活動の鈍化が一段と強まったことなどから、中旬まで大幅に下落しました。下旬には、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた各国の経済対策が期待されたことなどから反発したものの、月末の東証株価指数（TOPIX）は前月末比マイナス7.14%でした。
　当ファンドでは、経営戦略における環境の位置づけ、製造工程における地球温暖化や廃棄物関連対策などの負荷低減策、製品やサービスにおける環境配慮の実態など、環境対策への取り組みが進んでいる企業から銘柄を選別しています。今月は、証券株への新規投資や、建設株、小売業株などの買い増しを行なう一方、株価が上昇した地方銀行株や通信株などの一部売却による利益確定を行いました。基準価額は、多く保有する電気機器や印刷、情報・通信業などの一部銘柄が不振だったことなどから、TOPIXを下回りました。
〈今後の見通し〉世界中で感染者が急増し、ヒトやモノの移動を制限する動きが広がって、世界景気の先行き懸念が一段と強まっています。国内でも感染拡大を防止するための強固な対策導入が必須と見ており、4−6月期もマイナス成長となる可能性が高いと考えられます。ただ、SARSの時の中国や、震災後の日本などの例から、収束が見え始める段階での消費者マインドの回復ペースは比較的早く、夏までには内需の回復感が出始める可能性があります。企業業績についても、当面はかなり厳しいと想定されますが、中国での生産回復による製造業の稼働上昇と、国内での感染拡大の収束による消費者センチメントの改善により、7−9月期の業績は前四半期比で改善に向かう可能性があります。国内で感染者数が急増する局面があれば、株価はもう一段下押しする可能性も考えられますが、これまでの株価下落で感染拡大はある程度織り込まれていることや、過去の株安時との比較でPBR（株価純資産倍率）や配当利回りがボトム圏を示唆する水準にあることから、日本株の下値余地は限定的と考えています。当ファンドでは、株価下落時は質の高い企業に投資する好機と考えており、環境対策への取り組みが進んでいる企業への投資と適切なリスク管理によって、パフォーマンスを積み重ねてまいります。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

日本株AB（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の上場株式および店頭公開企業を主要投資対象とし、長期的な信託財産の成長を目指します。グローバルな視点に立ってわが国の株式市場の大きな流れを捉え、個別銘柄を厳選しアクティブ運用を行います。
【対象投資信託】
アバディーン・スタンダード・ジャパン・オープン(メガトレンド)

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	50	2.0%
有価証券等 アバディーン・スタンダード・ジャパン・オープン（メガトレンド）	2,492	98.0%
その他	－	－
資産合計	2,542	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	2,542	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	101.39	－
2019年 3月31日	95.62	−2.27%
4月30日	98.64	3.16%
5月31日	93.89	−4.82%
6月30日	95.17	1.37%
7月31日	97.24	2.18%
8月31日	92.65	−4.72%
9月30日	99.82	7.74%
10月31日	103.78	3.96%
11月30日	106.83	2.94%
12月31日	107.31	0.45%
2020年 1月31日	104.13	−2.97%
2月29日	99.14	−4.79%
3月31日	92.17	−7.03%
3ヶ月変化率		−14.11%
6ヶ月変化率		−7.66%
1年変化率		−3.61%
3年変化率		−9.09%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

アバディーン・スタンダード・ジャパン・オープン（メガトレンド）の基本情報

【運用会社】アバディーン・スタンダード・インベストメンツ
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

運用状況

■株式組入上位5業種（2020.3末現在）

	業種	構成比
1	化学	14.4%
2	電気機器	11.6%
3	情報・通信業	11.1%
4	機械	11.0%
5	輸送用機器	6.9%

※構成比は純資産総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	業種	構成比
1	中外製薬	医薬品	5.1%
2	ＫＤＤＩ	情報・通信業	4.9%
3	信越化学工業	化学	4.6%
4	東京海上ホールディングス	保険業	4.6%
5	トヨタ自動車	輸送用機器	4.4%
6	キーエンス	電気機器	4.3%
7	日本ペイントホールディングス	化学	3.5%
8	ダイキン工業	機械	3.4%
9	ウエルシアホールディングス	小売業	3.1%
10	日本取引所グループ	その他金融業	3.0%

※構成比は純資産総額に対する割合　（銘柄数　44）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

3月の日本株式市場は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、リスク回避姿勢が一段と強まり、大幅に下落しました。月末にかけては日銀による上場投資信託（ETF）の積極的な買入れや主要各国の経済対策が奏功し、株価は反発しましたが、月間では大幅な下落となりました。

主要株価指数は、対前月末比で東証株価指数（TOPIX）は▲7.1%、日経平均株価は▲10.5%となりました。中小型株指数である東証2部株価指数は▲13.7%、ジャスダック指数は▲7.9%でした。米ドル・円相場は前月末に比べ35銭程度、米ドル安・円高となりました。ユーロ・円相場は、前月末に比べ35銭程度、ユーロ安・円高となりました。

当月のポートフォリオのリターンはマイナスとなりました。

株式市場の変動が拡大している中、当月は比較的業績が安定的でリスクが少ないと考えられる医薬品や情報・通信セクターを選好しました。医薬品銘柄についてはバランスシートが盤石であることに加え、開発した関節リウマチ治療薬に関して、親会社が新型コロナウイルスへの有用性を確認する臨床試験を開始することも発表しており、豊富なパイプラインや強固な事業基盤も改めて確認できたものと考えております。情報・通信セクターにおいては新規参入事業者（非保有銘柄）による正式料金プランが発表されましたが、概ね事前想定通りの内容であり、ポートフォリオで組み入れている同業企業は新規事業者とのローミング契約を締結していることから競争環境の変化が及ぼす影響は限定的だと考えています。また、月末にかけては各社から5G料金プランも発表されており、利用者拡大に伴う中期的な業績成長が期待されます。

今後も引き続き、企業の成長性に着目して大型株から小型株まで幅広く投資機会を探り、企業訪問等を中心に徹底した調査・分析に基づき個別銘柄を選別するボトムアップ・アプローチによるアクティブ運用を行ってまいります。

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

BR日本株 (2020年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の上場および店頭公開企業を主要投資対象とし、長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。企業訪問を含めた「ボトムアップリサーチ」をチームによって一貫して行い、投資銘柄を厳選します。
【対象投資信託】
ブラックロック 日本株式オープン

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	278	2.6%
有価証券等		
ブラックロック 日本株式オープン	10,317	97.4%
その他	－	－
資産合計	10,595	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	10,595	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	84.47	－
2019年 3月31日	84.35	－2.59%
4月30日	86.44	2.48%
5月31日	82.68	－4.35%
6月30日	83.75	1.29%
7月31日	84.95	1.43%
8月31日	80.43	－5.32%
9月30日	86.87	8.01%
10月31日	90.51	4.19%
11月30日	93.10	2.87%
12月31日	94.81	1.83%
2020年 1月31日	91.02	－4.00%
2月29日	84.89	－6.73%
3月31日	78.14	－7.95%
3ヶ月変化率		－17.58%
6ヶ月変化率		－10.05%
1年変化率		－7.35%
3年変化率		－7.48%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

ブラックロック日本株式オープンの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

■市場別構成比 (2020.3末現在)

市場	構成比
東証１部	91.6%
マザーズ	2.7%
JASDAQ	1.2%
東証２部	0.6%
キャッシュ等	3.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位10業種構成比 (2020.3末現在)

	業種	構成比
1	情報・通信業	17.3%
2	電気機器	13.5%
3	サービス業	7.3%
4	医薬品	6.2%
5	輸送用機器	5.8%
6	化学	5.4%
7	銀行業	4.5%
8	食料品	4.4%
9	機械	4.3%
10	陸運業	3.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2020.3末現在)

	銘柄名	業種	構成比
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.5%
2	ニチレイ	食料品	2.4%
3	日本精線	鉄鋼	2.3%
4	ソニー	電気機器	2.0%
5	ＣＫＤ	機械	2.0%
6	日本電信電話	情報・通信業	1.9%
7	日本新薬	医薬品	1.9%
8	フジミインコーポレーテッド	ガラス・土石製品	1.8%
9	光通信	情報・通信業	1.7%
10	りらいあコミュニケーションズ	サービス業	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　(銘柄数　114)

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

フィデリティ日本株 (2020年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式を主要投資対象とし、長期的にベンチマークを上回る運用成果をあげることを目標とします。個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
【対象投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンド

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	787	3.5%
有価証券等 フィデリティ・日本成長株・ファンド	21,678	96.5%
その他	－	－
資産合計	22,465	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	22,465	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	144.65	－
2019年 3月31日	149.58	−0.73%
4月30日	155.87	4.20%
5月31日	147.34	−5.47%
6月30日	149.12	1.21%
7月31日	150.89	1.18%
8月31日	142.71	−5.42%
9月30日	155.21	8.75%
10月31日	162.81	4.90%
11月30日	168.89	3.73%
12月31日	171.62	1.62%
2020年 1月31日	166.46	−3.00%
2月29日	155.60	−6.53%
3月31日	140.72	−9.56%
3ヶ月変化率		−18.00%
6ヶ月変化率		−9.33%
1年変化率		−5.92%
3年変化率		−2.71%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドの基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数、配当金込）

運用状況

■市場別構成比 (2020.3末現在)

市場	構成比
東証１部	93.7%
東証２部	0.3%
ジャスダック	0.6%
その他市場	1.0%
現金･その他	4.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比 (2020.3末現在)

	業種	構成比
1	電気機器	21.0%
2	機械	14.6%
3	情報・通信業	11.9%
4	精密機器	7.9%
5	化学	6.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2020.3末現在)

	銘柄名	業種	構成比
1	三浦工業	機械	4.7%
2	ミスミグループ本社	卸売業	4.6%
3	キーエンス	電気機器	3.9%
4	オリンパス	精密機器	3.3%
5	シマノ	輸送用機器	2.7%
6	島津製作所	精密機器	2.4%
7	マキタ	機械	2.4%
8	ダイキン工業	機械	2.1%
9	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.0%
10	村田製作所	電気機器	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　(銘柄数　262)

【運用会社による投資信託へのコメント】(2020.3末現在)

当月の東京株式市場は、新型肺炎の世界的な感染拡大による景気後退懸念から、3ヵ月連続で下落しました。
米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げへの期待から小高く始まったものの、実際に緊急利下げが行われても投資家心理は改善せず、原油生産国の協調減産決裂による原油価格の急落、円高進行などを背景に、株価はすぐに下落しました。中旬には世界保健機関（WHO）がパンデミック（世界的な大流行）と表明した新型肺炎の影響が深刻化し、世界の株価は暴落の様相を呈しました。FRBが再び緊急利下げを行ったほか、日銀やECB（欧州中央銀行）など各中央銀行が相次ぎ緊急対策を打ち出しても市場の動揺は収まりませんでした。しかし米国で大規模な景気刺激策の検討が始まるとまずTOPIXが底入れ、続いて日経平均株価も下旬に入って力強く反発し、日銀による高水準のETF（上場投資信託）買いなどを支えに月初からの下げ幅を急速に縮めました。月末にかけては東京五輪の延期決定による影響は限定的となる一方、感染者数の増加に伴う首都圏での外出自粛要請や非常事態宣言への警戒感などが、株価の重石となりました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が−5.99%、日経平均株価は−10.53%でした。

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果･リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

インターナショナル株式グロース（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】外国株式
【運用方針】
主に日本を除く世界の証券取引所上場および店頭公開企業を投資対象とし、ベンチマークを上回るパフォーマンスを目指します。為替ヘッジは原則行いません。
【対象投資信託】
年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	662	3.7%
有価証券等 年金積立　インターナショナル・グロース・ファンド	17,168	96.3%
その他	－	－
資産合計	17,831	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	17,831	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	119.94	－
2019年 3月31日	144.49	−0.45%
4月30日	153.16	6.00%
5月31日	142.11	−7.21%
6月30日	146.07	2.79%
7月31日	152.58	4.45%
8月31日	139.12	−8.82%
9月30日	143.33	3.03%
10月31日	146.84	2.45%
11月30日	153.64	4.63%
12月31日	158.50	3.16%
2020年 1月31日	159.95	0.92%
2月29日	154.34	−3.51%
3月31日	130.43	−15.49%
3ヶ月変化率		−17.71%
6ヶ月変化率		−9.00%
1年変化率		−9.73%
3年変化率		8.74%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

年金積立 インターナショナル・グロース・ファンドの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
（投資一任）ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
【運用対象】日本を除く世界主要国の株式等
【ベンチマーク】MSCI-KOKUSAI（円換算）

運用状況

■株式国別配分上位（2020.3末現在）

	国名	ファンドのウェイト
1	アメリカ	70.77%
2	ケイマン諸島	4.39%
3	オランダ	4.35%
4	イギリス	3.07%
5	スイス	2.56%
6	中国	2.49%
7	スウェーデン	1.71%
8	ルクセンブルグ	1.20%
9	スペイン	1.18%
10	カナダ	1.15%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■株式組入上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	国名	ファンドのウェイト
1	AMAZON.COM INC	アメリカ	5.37%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	5.04%
3	APPLE INC	アメリカ	3.97%
4	ADVANCED MICRO DEVICES	アメリカ	2.28%
5	SALESFORCE.COM INC	アメリカ	2.26%
6	ADOBE INC	アメリカ	2.22%
7	FACEBOOK INC－CLASS A	アメリカ	2.17%
8	T－MOBILE US INC	アメリカ	2.14%
9	AMERICAN TOWER CORP	アメリカ	2.04%
10	MASTERCARD INC	アメリカ	2.00%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　62）

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

アライアンスグローバル株式 （2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】外国株式
【運用方針】
日本を含む世界各国の株式に投資いたします。成長の可能性が高い「産業セクター」を選定し、グローバルな視点で調査・分析し、成長性の高い銘柄に投資し、長期的な運用成果を目指します。為替ヘッジは原則行いません。
【対象投資信託】
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	265	4.1%
有価証券等		
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）	6,124	95.9%
その他	－	－
資産合計	6,389	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	6,389	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	94.40	－
2019年 3月31日	110.49	0.86%
4月30日	117.04	5.93%
5月31日	109.84	−6.15%
6月30日	113.79	3.59%
7月31日	118.05	3.74%
8月31日	110.00	−6.82%
9月30日	112.55	2.32%
10月31日	114.30	1.56%
11月30日	120.38	5.32%
12月31日	123.33	2.45%
2020年 1月31日	125.57	1.82%
2月29日	123.04	−2.02%
3月31日	101.02	−17.90%
3ヶ月変化率		−18.09%
6ヶ月変化率		−10.25%
1年変化率		−8.57%
3年変化率		7.01%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）の基本情報

【運用会社】アライアンス・バーンスタイン
【運用対象】日本を含む世界主要国の株式
【ベンチマーク】MSCI-WORLD（円換算）

運用状況

■株式国別配分上位 （2020.3末現在）

国名	組入比率
アメリカ	49.5%
オランダ	8.4%
日本	5.0%
デンマーク	4.6%
アイルランド	4.3%
スイス	4.2%
ドイツ	4.0%
フランス	3.9%
インド	3.6%
中国	3.5%

※実質組入比率を記載しています。

■業種別内訳 （2020.3末現在）

業種	組入比率
情報技術	26.1%
ヘルスケア	22.7%
資本財・サービス	12.9%
金融	11.0%
一般消費財・サービス	8.1%
素材	6.4%
生活必需品	5.9%
公益事業	2.1%
コミュニケーション・サービス	1.8%

※実質組入比率を記載しています。

■株式組入上位10銘柄 （2020.3末現在）

	銘柄	国名	組入比率
1	MSCI	アメリカ	3.1%
2	ロイヤル・フィリップス・エレクトロニクス	オランダ	2.7%
3	バイオラド･ラボラトリーズ	アメリカ	2.6%
4	クリスチャン・ハンセン・ホールディング	デンマーク	2.4%
5	テカン・グループ	スイス	2.3%
6	ゲレシェイマー	ドイツ	2.2%
7	ナイキ	アメリカ	2.2%
8	アディアン	オランダ	2.2%
9	ザイレム	アメリカ	2.2%
10	キングスパン・グループ	アイルランド	2.2%

※実質組入比率を記載しています。　（銘柄数　53）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2020.3末現在）

3月の世界の株式市場は、前月末比で下落しました。米国株式市場は、米国内での新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気され、中旬にかけて大幅に下落しました。株式市場の下げ幅抑制のためのサーキットブレーカーが発動される場面があったほか、緊急の金融政策が発表されたものの、かえって事態の深刻さが浮き彫りとなり、下落幅が拡大する状況となりました。その後は、2兆米ドル超の経済対策法案が可決されたことから、月末にかけてやや戻しました。欧州株式市場は、イタリアやスペインでの新型コロナウイルスの感染拡大が顕著となり、またドイツやフランスでも感染拡大が進む中、実体経済が想定以上に悪化するとの見方が広がり、中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和策の発表などが好感され、月末にかけてやや買い戻されました。日本株式市場も、欧米株式市場と同様に新型コロナウイルスの影響が嫌気され、月半ばにかけて大きく下落しました。その後、日本銀行による上場投資信託（ETF）の買入れ大幅増への期待などから株価は上昇に転じ、欧米株式市場の反発や60兆円規模の経済対策の提言案などを受けて、月末にかけておおむね堅調に推移しました。

主要市場の騰落率（前月末比、現地通貨建て）は次のとおりです。ダウ平均（米）：−13.3%、S&P500（米）：−11.8%、ナスダック総合指数（米）：−9.2%、FT100（英）：−18.1%、DAX（独）：−20.6%、CAC40（仏）：−20.3%、日経平均：−10.5%、TOPIX：−7.1%。円ドル・レートは円高ドル安となり、3月31日の基準価額の算定に使用するレートは1ドル＝108円83銭（2月28日：109円43銭）となりました。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

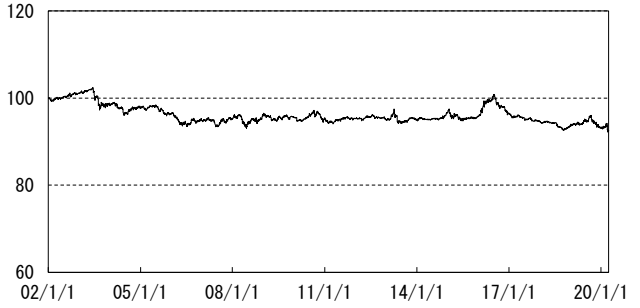
日本債券インデックス（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】日本債券
【運用方針】
国内の債券市場全体の動きを捉えるファンドです。NOMURA-BPI総合に連動した投資成果を目指します。
【対象投資信託】
インデックスファンド日本債券（1年決算型）

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	95.74	―
2019年 3月31日	94.48	0.58%
4月30日	93.88	−0.63%
5月31日	94.24	0.38%
6月30日	94.64	0.43%
7月31日	94.72	0.09%
8月31日	95.96	1.30%
9月30日	94.91	−1.09%
10月31日	94.00	−0.96%
11月30日	93.76	−0.25%
12月31日	93.20	−0.60%
2020年 1月31日	93.55	0.38%
2月29日	93.63	0.09%
3月31日	92.61	−1.10%
3ヶ月変化率		−0.64%
6ヶ月変化率		−2.42%
1年変化率		−1.99%
3年変化率		−3.27%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	57	3.0%
有価証券等		
インデックスファンド日本債券（1年決算型）	1,850	97.0%
その他	―	―
資産合計	1,907	100.0%
負債合計	―	―
純資産総額	1,907	100.0%

対象投資信託について

インデックスファンド日本債券（1年決算型）の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
【運用対象】日本の公社債
【ベンチマーク】NOMURA-BPI総合

運用状況

■公社債残存別構成比（2020.3末現在）

残存期間	構成比
1年未満	3.18%
1～3年	17.46%
3～7年	25.94%
7～10年	14.99%
10年以上	38.20%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■公社債種別構成比（2020.3末現在）

種別	構成比
国債	76.93%
特殊債（政府保証債等）	9.22%
地方債	6.07%
金融債	0.74%
事業債	6.82%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■公社債上位10銘柄（2020.3末現在）

	銘柄	構成比	残存年数
1	第341回利付国債（10年）	1.78%	5.73年
2	第345回利付国債（10年）	1.54%	6.73年
3	第357回利付国債（10年）	1.41%	9.73年
4	第140回利付国債（20年）	1.32%	12.48年
5	第335回利付国債（10年）	1.25%	4.48年
6	第144回利付国債（20年）	1.25%	12.98年
7	第349回利付国債（10年）	1.24%	7.73年
8	第346回利付国債（10年）	1.24%	6.97年
9	第350回利付国債（10年）	1.21%	7.98年
10	第351回利付国債（10年）	1.10%	8.23年

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 289）

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

インターナショナル債券（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

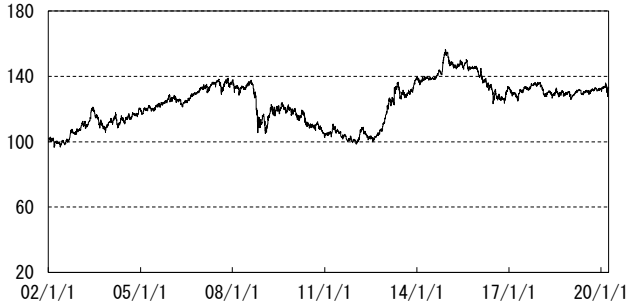
【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】世界債券
【運用方針】
主として日本を除く先進各国の政府、政府機関等の発行する債券を中心に分散投資を行い、国内債より相対的に高い金利収入を確保するとともに債券価格の上昇による収益の獲得を狙います。為替ヘッジは原則行いません。
【対象投資信託】
年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンド

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	410	4.0%
有価証券等 年金積立　インターナショナル・ボンド・ファンド	9,866	96.0%
その他	－	－
資産合計	10,276	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	10,276	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	128.06	－
2019年 3月31日	130.76	0.61%
4月30日	131.54	0.60%
5月31日	129.59	−1.48%
6月30日	130.30	0.55%
7月31日	131.10	0.61%
8月31日	131.32	0.17%
9月30日	131.64	0.25%
10月31日	132.39	0.56%
11月30日	132.31	−0.06%
12月31日	132.20	−0.08%
2020年 1月31日	133.06	0.65%
2月29日	135.15	1.57%
3月31日	132.66	−1.84%
3ヶ月変化率		0.35%
6ヶ月変化率		0.77%
1年変化率		1.46%
3年変化率		3.60%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンドの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント
（投資一任）日興アセットマネジメント　ヨーロッパ　リミテッド
【運用対象】日本を除く世界主要国の公社債
【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

運用状況

■公社債残存別構成比

（2020.3末現在）

残存期間	構成比
1年未満	4.21%
1～3年	0.00%
3～7年	25.42%
7～10年	31.87%
10年以上	31.14%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■公社債通貨構成比

（2020.3末現在）

種別	構成比
ユーロ	39.33%
アメリカドル	35.46%
イギリスポンド	5.68%
デンマーククローネ	4.67%
メキシコペソ	1.67%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■公社債組入上位10銘柄

（2020.3末現在）

	銘柄	種別	構成比	通貨	残存年数
1	US TREASURY N/B	国債	10.01%	アメリカドル	17.13年
2	US TREASURY N/B	国債	8.31%	アメリカドル	7.88年
3	BUONI POLIENNALI DEL TES	国債	6.00%	ユーロ	7.34年
4	BUONI POLIENNALI DEL TES	国債	5.24%	ユーロ	5.92年
5	UK TREASURY	国債	5.06%	イギリスポンド	14.45年
6	NYKREDIT REALKREDIT AS	社債	4.67%	デンマーククローネ	4.76年
7	US TREASURY N/B	国債	4.44%	アメリカドル	8.38年
8	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	国債	4.37%	ユーロ	7.59年
9	US TREASURY N/B	国債	4.34%	アメリカドル	28.39年
10	FRANCE (GOVT OF)	国債	3.81%	ユーロ	6.07年

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合　（銘柄数　36）

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

マネー（2020年3月末現在）

特別勘定について

基本情報

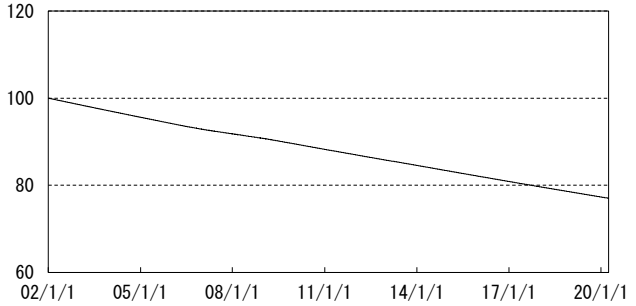
【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】短期金融商品
【運用方針】
円建の格付の高い短期金融資産を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。
【対象投資信託】
特に定めません

■特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	15,301	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	15,301	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	15,301	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	80.58	—
2019年 3月31日	78.20	−0.13%
4月30日	78.10	−0.12%
5月31日	78.00	−0.13%
6月30日	77.91	−0.12%
7月31日	77.81	−0.13%
8月31日	77.71	−0.13%
9月30日	77.61	−0.12%
10月31日	77.52	−0.13%
11月30日	77.42	−0.12%
12月31日	77.32	−0.13%
2020年 1月31日	77.22	−0.13%
2月29日	77.13	−0.12%
3月31日	77.03	−0.13%

3ヶ月変化率	−0.37%
6ヶ月変化率	−0.75%
1年変化率	−1.49%
3年変化率	−4.40%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米ドル短期 (2020年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日
【資産分類】短期金融商品
【運用方針】
主に米ドル建の格付の高い短期金融資産に投資することにより元本を維持し、流動性を保ちながら米ドルベースで安定した収益の獲得を目指します。
【対象投資信託】
米ドルMMF

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金　額	構成比
現預金	526	3.0%
有価証券等 ニッコウ・マネー・マーケット・ファンド（米ドルMMF）	16,995	97.0%
その他	－	－
資産合計	17,522	100.0%
負債合計	－	－
純資産総額	17,522	100.0%

■ユニットプライスの推移

	ユニットプライス	前月比
2017年 3月31日	81.23	－
2019年 3月31日	79.87	0.12%
4月30日	80.49	0.77%
5月31日	78.76	−2.15%
6月30日	77.66	−1.40%
7月31日	78.28	0.80%
8月31日	76.74	−1.96%
9月30日	77.77	1.33%
10月31日	78.43	0.85%
11月30日	78.88	0.57%
12月31日	78.85	−0.04%
2020年 1月31日	78.47	−0.48%
2月29日	78.67	0.25%
3月31日	78.22	−0.56%
3ヶ月変化率		−0.79%
6ヶ月変化率		0.59%
1年変化率		−2.06%
3年変化率		−3.70%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

対象投資信託について

米ドルMMFの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
【運用対象】米ドル建公社債
【ベンチマーク】特に定めない

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■積立期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項　目	費　用
保険関係費用（契約管理費）	特別勘定の純資産総額に対して年率1.5%
資産運用関係費用* （資産運用管理費）	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率2.2%（税込）程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.5の「特別勘定の内容」をご覧ください。

＊資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項　目	適　用	費　用
契約維持費	契約日から10年未満で、かつ月単位の契約応当日前日の積立金額が150万円未満の契約の場合	毎月400円
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.5%
継続管理費 （払済年金保険に変更された場合）	月単位の契約応当日前日の積立金額が50万円未満の契約の場合	毎月600円
	月単位の契約応当日前日の積立金額が50万円以上150万円未満の契約の場合	毎月400円

■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

項　目	適　用	費　用
保険関係費用（年金管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 （毎年の年金支払日に責任準備金から控除します）

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります（ただし、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください）。

ご注意いただきたい事項

- 「アグレ（積立型変額年金保険）」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険（変額年金保険）です。
- 「アグレ（積立型変額年金保険）」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】

SMBC日興証券株式会社

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

0120-155-730

受付時間　平日9：00～17：00
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。）